

あらたまの

年のはじめは祝うとも

南無阿弥陀仏の

こころわするな

(蓮如上人)

本年も宜しく願います。

1月例会

期日：1月31日(土)

夜7時～8時半

プログラム

お勤め・法話

話し合い

仏教讃歌

放談会

(気楽に雑談しましょう)

◎話し合いテーマ

「正信偈を味わう⑩」

＊都合により日程が変更(当初25日の予定)となりました。ご了承下さい。

縁あればこそ

賛助会員 北村開子

梅鶯仏教会の皆様ありがとうございます。

主人が亡くなってから届けて頂いておられます会報を家族で読ませてもらっております。

皆様方がお寄せ下さいました追悼文やお声掛けに家族と致しまして、心癒され安らぎを与えていただきました。感謝申し上げます。

主人が一番喜んでいいると思います。幸せ者でございます。

「おぶくさん」を供え、お花を替える。だけの事が精一杯のかかわりの在り方でした。

葬儀の翌日から、朝夕の正信偈のお勤めと、御文章(棒読み)を私流に解釈して、日を追う毎に不思議と心が落ち着く様になりました。

そして、43年間を振り返って、心から「ありがとう」と遺影に語りかけております。

これも偏に皆様方のご縁があればこそと喜んでいきます。

本当に有難うございます。今後ともよろしくお願い致します。

インド仏跡巡拝の旅 ④

― 釈尊の聖地を訪ねて ―

副会長 森勝昭

2月5日(5日目)

6時起床、7時朝食、8時出発

ルンビニ(釈尊生

誕地)はネパール領

でインドとの国境近

くにあり、マヤー妃

がお産のため故郷へ

マヤ堂



帰られる途中、ここルンビニ周辺で右脇腹からお釈迦様がお生まれになった。マヤ堂の遺跡、アショーカ王柱や産湯(うぶゆ)として使った池が残っていました。

けて、バスだと7時間かかる所を飛行機で30分、機内にておにぎり弁当をいただきました。

アショーカ王の石柱

機内からアンナプルナ連峰の美しい山々を見ることができました。

プルーナ連峰の美しい山々を見ることができました。

ルンビニ産湯



題材法話

故自然体なものでしょうか？
 ○進歩的な仏教
 キリスト教のものの考え方は先進的で、仏教は古くさいと言います。
 これは、科学技術を中心とした現代文明が、キリスト教を基盤とする西洋を中心に進達したために起こる錯覚です。
 実はいにしえから仏教ほど古い物も新しい物も、自分の国の物もよその国の物も、非常に柔軟に受け入れてきた宗教はなく、非常に自然体なのです。
 その理由は、仏教は縁起でものごとが成り立っていると考えからです。
 キリスト教などの一神教は一神が人間を中心にこの世界を創りたもうた」ということを基本にしますが、仏教は、あらゆるものが全てそれぞれに関わり合い、それぞれがもたれ合い存在しているという、縁起の世界を説きます。

入れることができます。仏教は非常に進歩的な感覚の教えなのです。○仏教の大学に何故医学書が？

今年の梅鶯仏社の秋の親睦旅行では、龍谷大学の大学舎を訪ね、重要文化財の校舎や、国宝を所蔵する図書館を見学しました。

龍谷大学は西本願寺を母体とする、日本で最も古い大学で、大宮図書館には大変に古い書物が沢山あります。

その古い本の大半は仏教関係ですが、最近、古い蔵書の中から沢山の医学書が見つかり、今回の見学会でも見せて頂きました。

いままで龍大には医学関係の専門家がおられなかつたために見過ごされてきたのですが、たまたま理工学部のですが、図書館長に就任され、発見されたのです。

それらの本は、東洋医学の貴重な書物で、中国の明朝時代に発刊されたものですが、すでに地上からは消え失せてしまっているものと、専門家の間では信じられていました。

ところが医学部もない龍

ていたのです。またその他にも、江戸時代の研究された、日本の有名な漢方医学書の「手書き本」も何冊が残っており、関係する学者の間では大変な話題となり、新聞等の報道機関にも取り上げられました。

ではなぜ、心の病を治すことが中心の仏教を教える学校で、人間の体を治すための貴重な医学書が、これだけ沢山に所蔵されていたかということなのでしょう、ここに仏教・浄土真宗の柔軟性、自然的なところがあつたのです。

○科学を育てた真宗門徒

たとえば、安芸門徒と呼ばれ浄土真宗の門徒が大變に多い広島地方ですが、ここは江戸時代に医者と薬屋が最も多かった地域だそうです。

また、北陸門徒として有名な富山も薬で有名です。それは何故かといえば、江戸時代の頃に病氣に掛かった場合、神に祈禱するとか、悪魔払いの護符をもらうとか、おまじないによつて病氣を治そうとするのが一般的でした。



この度、法輪

んな縁起に沿わない迷信や、古
いしきたりにはこだわらず、
もつと純粹に、現実を見つめ
ました。

どんな新しいことでも、た
とえよその国の物でも、「良
い物は良い」と純粹に受け入
れることができたのが真宗門
徒でした。

その純粹さが、医者や薬を
求め、さらには育て上げたの
です。

仏教・浄土真宗のものの考
え方は非常に先進的で、多少
のことは動ずることのない
強い生き方が出来たのです。

梅鶯仏壮報恩講

住職法話よ

梅鶯仙壯報恩講

住職法話よ